

# 曾野木のまちづくり

## ～公共施設のこれから～

**パネルをご覧ください、  
みなさんのご意見をお寄せください！**

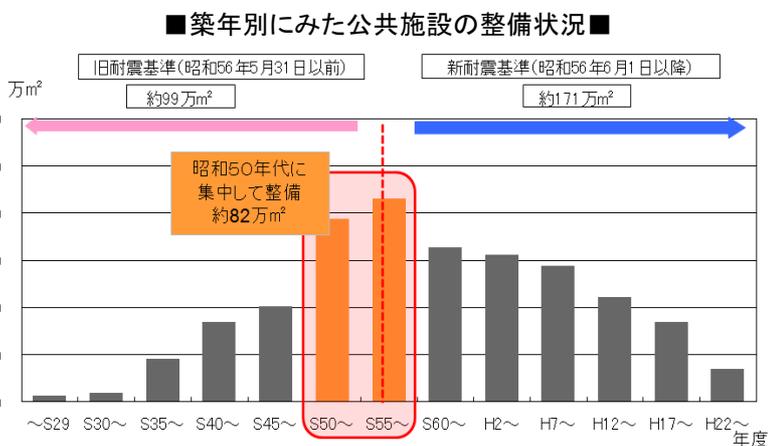


平成28年  
江南区地域課・市財産活用課

# 現在の公共施設は さまざまな課題に直面

## 老朽化する公共施設

現在使われている公共施設は、人口増加が著しかった昭和50年代に整備されたものが多く、老朽化による修繕や建て替えの時期が一斉に到来することが見込まれます。



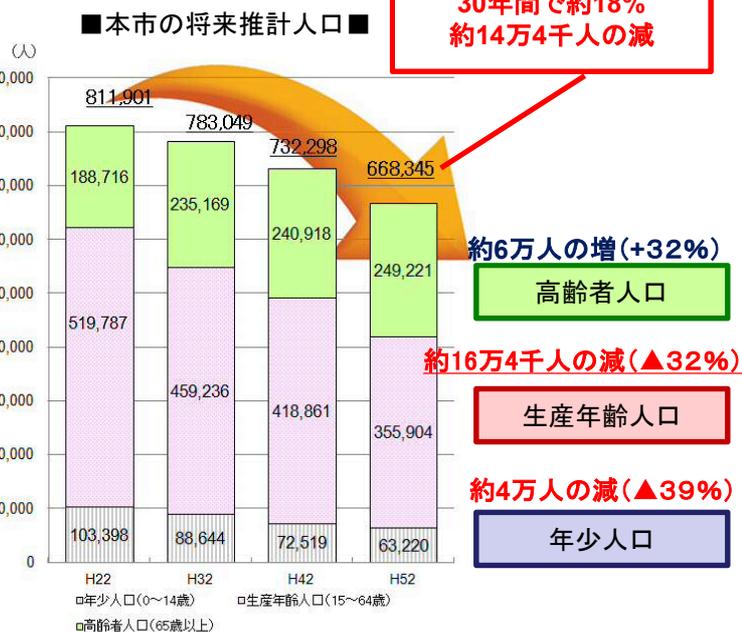
「財産白書」58ページ「図3-17 築年別にみた公共施設の整備状況」より作成

## 人口減少 (生産年齢人口の減少)

新潟市では、平成22年から平成52年までの30年間に、およそ14万4千人も人口減少が予測されています。

とりわけ、勤労世代である生産年齢人口(15歳から64歳)の減少が著しいため、将来の税収増加の見込みは厳しいものとなっています。

また、年少人口(15歳未満)も約4割減少するため、まちのありようの変化に伴い、公共施設に求められる機能も変わっていくことが予想されます。



## 今後不足が見込まれる公共施設の維持・更新費用

現在の公共施設を、たとえ長持ち(長寿命化)させたとしても、今後、修繕や建て替えなどの費用が不足することが予想されています。将来の税収増加の見込みが厳しいなかで、今ある施設の全てを今後も同じように維持することは難しい状況です。

■ 公共施設の将来更新費用と近年平均更新費用の比較 ■

シナリオ	今後50年間の必要額	年平均の必要額①	H17~24年平均額②	年平均不足額①-②
標準 建替周期60年	1兆2,233億円	245億円	121億円	▲124億円
長寿命化 建替周期80年	8,988億円	180億円		▲59億円

# 課題に対応するための 「財産経営推進計画」

## 市：財産経営推進計画策定へ

市では、平成27年7月に、市の公共施設や道路、橋、上下水道などのインフラ資産について、今後の管理を安全かつ合理的に進めていくために、「新潟市財産経営推進計画」を策定しました。

財産経営とは、市有財産を効率的に管理・利活用する取り組みのことを指します。

## 地域別実行計画とは

財産経営推進計画では、公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」を、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域のみなさんと協働して作成することとしています。

地域で  
学校統合、  
公共施設の  
建て替えなどの  
検討予定あり

地域の公共施設について  
地域のみなさんと市とが  
一緒に検討を進める

地域での  
検討の成果を  
ふまえた  
計画の策定

**新潟市財産経営推進計画** **潟東地域実行計画**

【背景】 潟東地区 平成27年 策定された成果を

(参考) 小学校統合をきっかけとして策定された、西蒲区潟東地域の実行計画

検討に着手し、 状況などによ

**公共施設の再編計画**

【コンセプト】 潟東体育館をコミセンに転用し、中心部をコンパクトにまとめつつ地域活性化・多世代交流を図る

【概要】

- 潟東体育館を増築し、従来のスポーツ機能に加え、調理室などコミュニティ機能を複合し、コミセン化
- 改善センター跡地は、駐車場として整備
- 旧東小・西小は、地域の活性化に資するテーマを設定し、売却または貸付（民間活用）
- 旧小学校を民間活用する際は、一時避難場所とすることを条件（旧西小・南小は短期滞在も条件）
- 旧南小の活用方法は、引き続き検討

【効果】

- 潟東体育館に施設が集約されコミセン化するのととも、駐車場も拡充されることで、中心性、拠点性、祭り時の使い勝手が向上し、賑わいや多世代交流が期待
- 学校跡地の民間活用による地域の活性化が期待
- 施設総量が軽減され、将来世代の負担軽減

注）コミセン：コミュニティセンターの略称

併せて検討

**再編スケジュール** ※引用しにより変更となる場合があります

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
潟東体育館	存続			改修・増築 工事		コミセンとして利用
農村環境改善センター	廃止		体育館への集約化に向けた 構築・設計			廃止 除却し駐車場として整備
生活体験館	廃止			廃止に向け 準備		廃止 売却・貸付
潟東ゆう学館	存続			老老の機能受け入れに向けた 整理・調整・検討		ゆう学館 として存続
生きがいルーム寿楽	廃止			機能移転に向けた準備	廃止に向け 準備	廃止 売却・貸付
ゲートボール場	廃止				体育館機に 整備	
潟東小学校	新設			敷地内への新設小整備に に向けた設計	工事	新設小利用開始 ひまわり複合化
潟東中学校	存続					
旧東小学校	廃止			民間活用に向けた 準備		農業をテーマとした民間活用 (一時避難場所とする協定締結)
旧西小学校	廃止			民間活用に向けた 準備		スポーツをテーマとした民間活用 (一時避難場所・短期避難所とする協定締結)
旧南小学校	検討					潟東小学校として利用 活用方法継続検討
ひまわりクラブ	廃止				存続	検討内容を実施 廃止 売却・貸付
潟東出張所	存続			健康センターの 機能受け入れに向けた準備	改修工事	出張所として存続 健康センター複合化
健康センター・デイ サービスセンター	移譲			民間移譲を検討		民間移譲
美術館・資料館・ 物産館	存続			運営方法について検討		検討内容を実施
給食センター	存続					存続

【今後の進め方】 詳細な検討を行う中で、必要な機能を確保し、機能の維持に努めます。 跡地については、民間事業者の意向調査を実施するなど可能性を把握します。また、事業者の 選定にあたっての条件整理は、地域のみなさんとの協働で行い、将来像が分かるように進めます。

# 「地域別実行計画」 検討の進め方

## 検討を始めたきっかけ

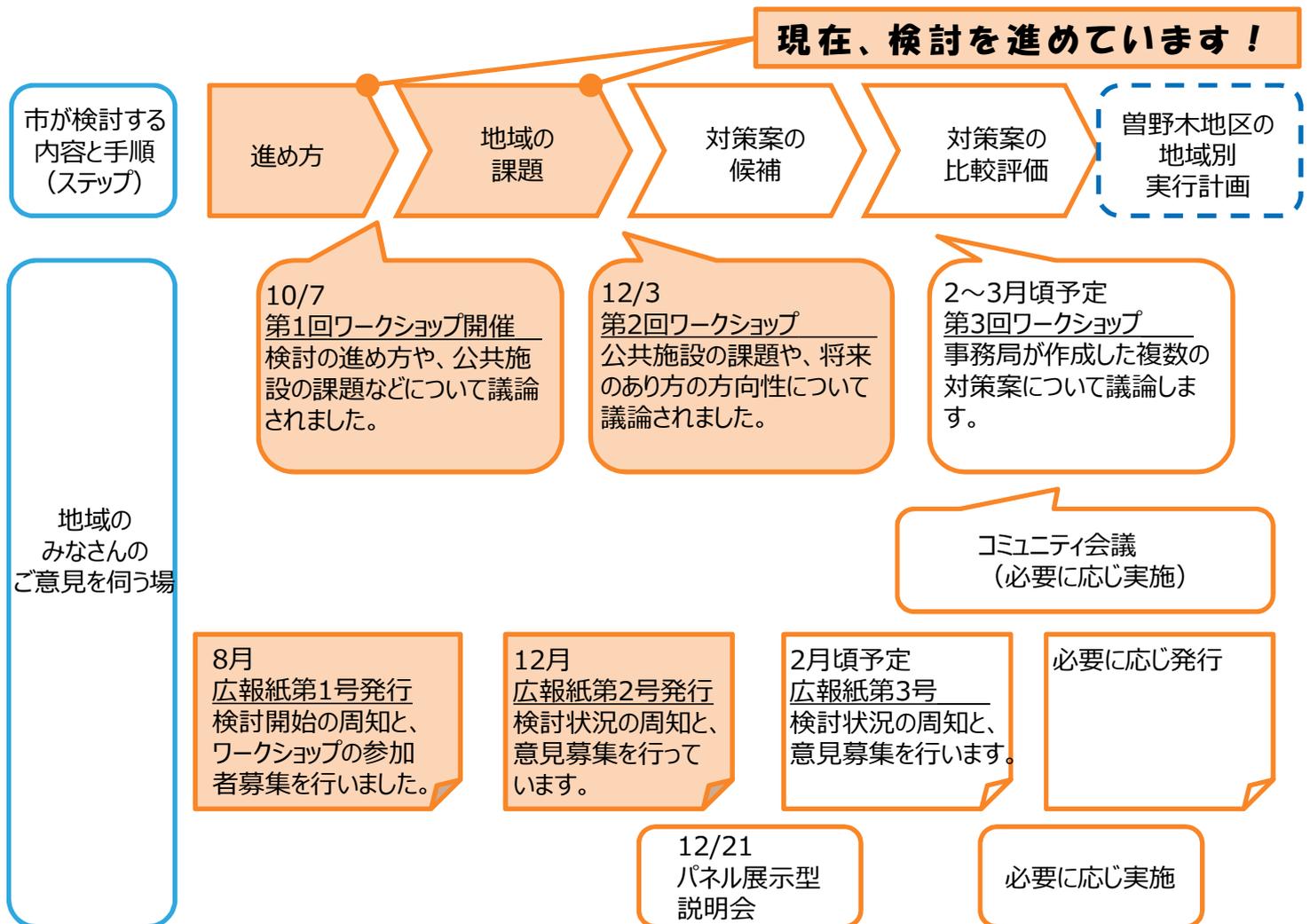
曾野木地域では、市営住宅跡地活用について、住民主体で検討がされてきました。また、市では、曾野木・第二曾野木保育園について、老朽化による統合を検討することとしています。

これらの検討をきっかけとして、「地域別実行計画」の策定に向けた取り組みを開始しました。

## 今後の進め方（曾野木地域の場合）

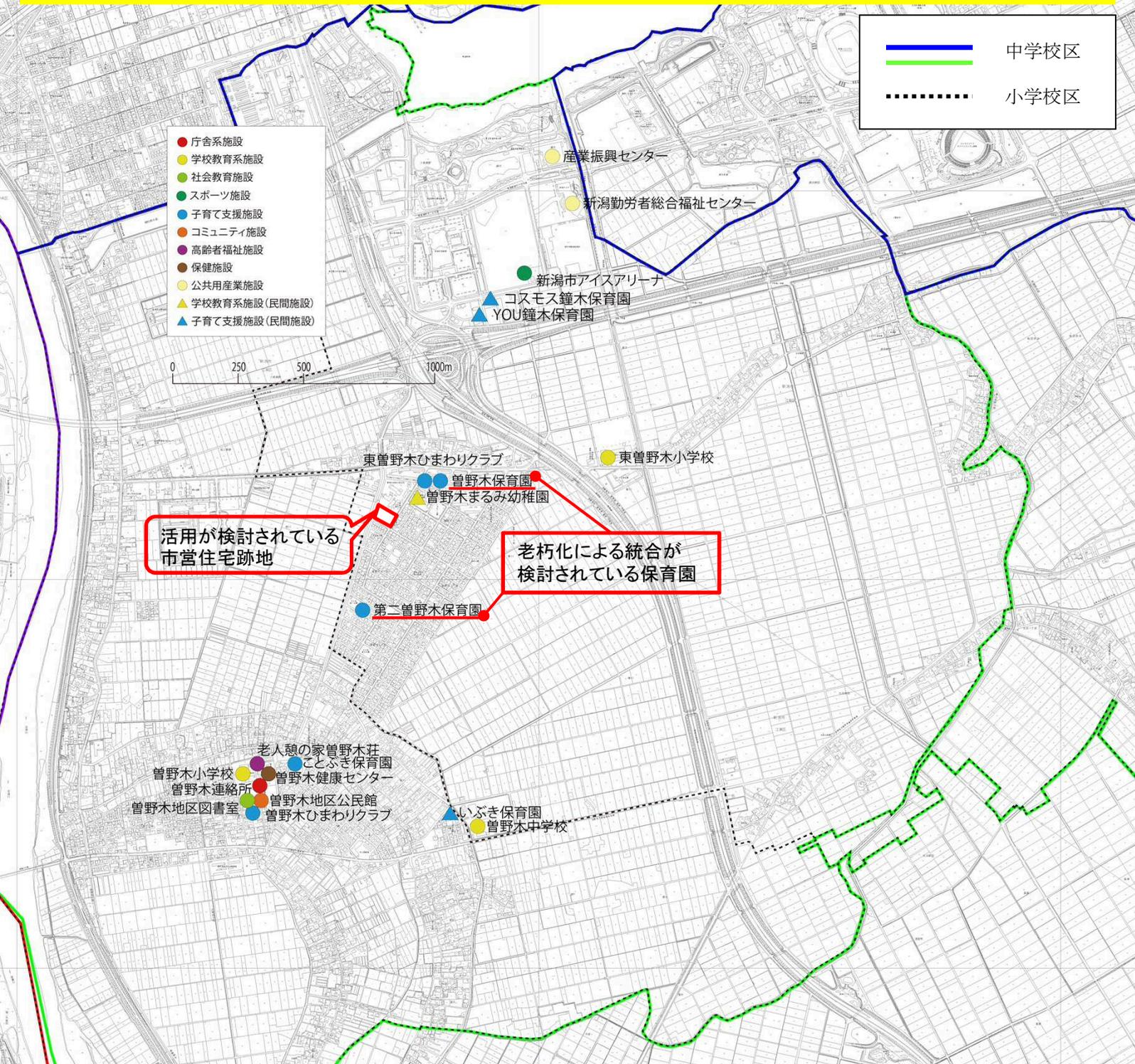
新潟市は、下図に示したステップに分けて検討を行い、「地域別実行計画」を策定します。

ステップに合わせ、さまざまな方法で広く地域のみなさんのご意見を伺い、検討に反映します。



# 曾野木地域の 公共施設の状況は…

- ・市営住宅跡地活用について検討されてきました
- ・保育園の老朽化による統合が検討されています



# 公共施設についての 地域の意見は… (1)

## いろいろな課題が指摘されています

### 公共施設の現状の課題

#### <地区内の施設バランス>

- 公共施設が公民館周辺に集中しているため、住んでいる場所によっては、遠く、不便。
- 曾野木団地の周辺には、大きめの会議ができる集会施設や高齢者向け施設がない。高齢化が進み、移動も大変になってきているので、同様の施設がほしい。

#### <施設までのアクセス>

- 公民館に向かう道路に歩道がなく、照明が暗く、歩くのは危険。駐車場が狭く、車でも行きにくい。
- 高齢になって運転できなくなると、徒歩圏に店舗や病院などが不足しているため不便。
- 区バスの本数が少なく、使い勝手が悪いので、改善してほしい。

#### <利用率・運営方法・使い勝手>

- 広いスペースが公民館のホール以外ないため、予約が取りづらい。スペースが狭く入りきれない場合もある。
- 施設によって、利用率に差が出てきている。
- 公共施設は何をしているか分からず入りにくい雰囲気があり、利用の仕方も分かりにくい。情報発信や認知度を上げるなどの工夫が必要では。
- 公民館内の図書室は開館日数が限られており、狭くて学習スペースもあまりないので使いづらい。
- 学校の体育館は個人利用できず、ルールも厳しく使いづらい。
- 地区内に連絡所があるのは便利。

#### <子育て支援>

- 地区外からの保育園利用者も多く、地元住民が入れない。
- 保育園の駐車場が少ないため、朝夕やイベント時は多数の路上駐車が発生し、近隣から苦情が出ている。
- 東曾野木ひまわりクラブを、小学校と併設（隣接）できないか。
- 子どもが屋内で遊べる場や、親子で憩える公園がない。
- 小学生は子どもだけで学区外に出れないという規制があるので、ルールの改善とともに東曾野木小周辺にもイベントが開催できる施設が必要。
- 中高生の学習スペースがなく、市街地まで足を延ばしている。区バスの時間も限られているので、近くにほしい。

#### <避難所>

- 避難所は身近な場所に分散して配置してほしい。
- 場所によっては、津波や洪水の際の避難に適した高層の公共施設がなく、高齢者などは近くに避難場所がないと不安。
- 避難所までの経路となる道路の広さなどにも配慮してほしい。

### 公共施設に対する提案・要望

#### <望まれる機能>

- 高齢者と子どもが交流できる居場所があれば、地域が活気づくと思う。市営住宅跡地に複合できないか。
- 高齢化社会に対応し、健康センターを健康維持の施設にしたり、公民館を高齢者の交流の場にできると良い。
- 公民館よりも大きなスペースのホールがもう1つほしい。曾野木団地周辺に施設ができれば、2つのホールで分担しながら地区内でイベントを開催できる。
- 中高生のための学習スペースやスポーツ施設が地区内にあると良い。
- 東曾野木小区に、小学生も大人も通える図書館がほしい。
- 保育園の統合が検討されているが、統合して施設が充実し、広い駐車場も整備されるなら、むしろ歓迎する。
- 健康センターや近隣の病院がなくなったので、診療所を設けて定期的に出張診療を受けられるといい。
- 舞平公園は、災害時に避難場所としても機能するよう、かまどベンチなど防災施設を充実させてほしい。
- 子どもが住みやすい環境を整えると言っても、まずは親世代が来なければだめなので、30～40代が満足できるサービスを充実させれば人口が増えるのでは。

#### <市営住宅跡地>

- 公民館周辺エリアと曾野木団地エリアは、物理的にも意識的にも距離があり、コミュニティも分かれてしまう傾向があるので、新しくコミュニティ施設をつくることで地域の一体感を形成したい。
- 公民館エリアの住民にとっても行きやすく、団地エリアとの交流が促進できるように、区バスなどでアクセスを良くする工夫が必要。
- 多機能化・複合化すれば、さまざまな機能を持った施設ができるので、利便性が高まることに期待している。
- 避難所利用できるように、3階建て以上、防災備蓄倉庫などの防災設備を充実してほしい。
- 青少年の健全育成につながるものになると良い。
- 販売所などを複合しても、利用しないと維持できない。住民にとって身近で、利用したくなる施設になることが大切。
- 複合施設ができて、コミュニティ協議会に管理が委託されるとしたら、事故の際の責任の所在が気になる。

# 公共施設についての 地域の意見は… (2)

## どのような対策を講じるべきでしょうか？

### 地域づくりの視点

#### <財政負担を将来に残さない>

- ・ 新規施設整備が難しいなら、既存施設転用も検討しては。
- ・ 子ども、高齢者など各属性のための施設を複数つくるのではなく、多様な世代が共有できる施設をつくれれば、公共施設の再構築につながり、財政負担も減少するだろう。
- ・ 公共施設の運営に行政、地域、民間が協働で取り組めば、負担軽減につながるのでは。
- ・ 住民としては財政負担のことはあまり考えず、明るい将来を考え、住民の暮らしの利便性を重視して意見交換したい。

#### <公共サービスの充実>

- ・ 子育てしやすい、若い世代が住みやすいまちを目指したい。
- ・ 高齢者や子どもに加え、障がい者も安心安全で元気に過ごせるまちを目指し、施設整備やバリアフリー化を進めてほしい。
- ・ 施設の再編により、サービスの質や利便性を低下させたくない。

#### <地域のまとまり・中心性>

- ・ 公民館周辺と市営住宅跡地周辺の2か所に拠点をつくるのが良い。
- ・ 施設をある一定のエリアにまとめても良いと思う。
- ・ 生活場面ごとの利便性を考えて、集約する機能と分散する機能を整理しては。
- ・ 地域としての一体感という視点から考えると、2つの地区を結ぶ施設を中間につくるか、中心を1つにするのが良い。
- ・ 公民館周辺と団地周辺の両方に施設をつくることは財政的に難しいと思うので、各々の不便さの度合いが平等になるような施設配置を考えるのが良い。

#### <地域の活性化>

- ・ 地域に人を呼ぶために、大学や専門学校を誘致するなど起爆剤が必要。
- ・ 子育てサービスの強化などにより、働く女性と専業主婦の双方を支援できれば、住む人が増え、地域が活気づくのでは。

#### <効率性・利便性>

- ・ 対象世代ごとにスペースを設けるのではなく、時間帯で分けて共有すれば効率が良くなる。
- ・ バスの充実や地駐車場の整備など、車の有無にかかわらず気軽に公共施設への行き来ができるようにすることが大切。
- ・ 施設を集約する場合、交通サービスの充実とセットで検討すべきでは。

#### <重視すべき地域づくりの視点>

- ・ 公民館周辺と団地周辺の住民が、同じ地域で暮らしているという意識を持ち、地域の一体感を生むにはどうしたらいいかというのが、地域の大きな課題だと思う。

### 課題解決の諸方策

#### <多機能化・複合化>

- ・ 多機能化や複合化すれば、多世代交流が生まれる機会となるので、1つのスペースを複数の目的や対象者で使用することが良い。施設の効率的な利用にもなる。
- ・ 施設統合などにより既存施設に空きができた場合は、そこに新たな機能を複合することを検討しては。

#### <民間活力>

- ・ 保育園統合などで生まれた跡地は売却し、そこに民間活力を使いながら地域のためになる施設ができると良い。
- ・ 病院やスーパーなどは、行政だけでは整備が難しいので、施設整備と運営の両面で積極的に民間活力を導入しては。

#### <拠点施設>

- ・ 限られた資金で複数施設をつくると中途半端になる恐れがあるので、1か所にしてグレードを上げることを考えた方が良い。
- ・ 多世代のニーズに応えられるよう、健康センター、図書館、避難所などの機能を複合しては。

#### <世代間交流>

- ・ 世代を超えて、高齢者や子どもが日常的に交わる機会を増やしたい。

#### <高齢者支援・子育て支援・子育て世代支援>

- ・ 高齢者の活動を継続、拡大することが健康維持につながるので、サロンの設置などの支援ができると良い。
- ・ 子どもを気軽に遊ばせ、預けることができる施設や、地縁に縛られない緩やかなコミュニティがあれば、子育て世代が新たに引っ越してくるのでは。
- ・ 放課後の小学生の行き場がなくなっているため、消防跡地などを活用して、子どもの遊び場があると良い。

#### <安心・安全・健康>

- ・ 備蓄品を備えた避難所が分散配置され、水害時に避難できる高層の避難所が整備されれば、災害への不安が軽減される。
- ・ 健康センターのように、検診や健康指導を受けられる場所が必要。

#### <使い方・運営>

- ・ 公共施設は利用のルールが多く、申請手続きも面倒。規制を緩めれば利用率が上がって利用料も増え、交流が生まれるきっかけにもなるのでは。
- ・ 施設が遠くなるなどの不便さは、支えあいで解決できる部分があるのでは。

#### <公共交通サービス>

- ・ 施設を集約しても分散しても、各施設間や公民館周辺と団地周辺を結ぶコミュニティバスが不可欠。民間や住民主導での実現も考えたい。
- ・ 十分な駐車場の確保を。

# 曽野木地域の公共施設 望ましい将来の姿とは

## 地域のみなさんも一緒に考えましょう！

- 地域の公共施設について、どのような課題がありますか？
- 公共施設やそのサービスについて地域全体から見た場合、どのような課題や対策が考えられますか？
- 対策を講じることで、どのような状況が実現されるとよいでしょうか？特に配慮すべきことは何ですか？

## さまざまなコミュニケーションの機会を設けています

### ワークショップ

参加者は、コミュニティ活動をしている人や、公共施設利用団体、PTA、公募などによるメンバーにより構成されています。

平成28年10月から、これまで2回開催されました。

今回は2月頃に開催予定です。

### 広報紙

ワークショップや、市の検討の状況を、地域のみなさんにお伝えするための広報紙です。

平成28年8月に第1号、12月に第2号が発行されました。

今後も適宜発行していきます。



### パネル展示型説明会

検討の状況をまとめたパネル展示を地域のみなさんにご覧いただき、職員がみなさんのご意見を伺ったり、ご質問に答えたりします。



### コミュニティ会議

自治会や保護者団体など、さまざまなコミュニティに、事務局がお伺いし、集まれたみなさんに検討の状況をお伝えしたり、ご質問に答えたりします。



## ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局  
(江南区地域課・市財産活用課)

郵便

〒950-0195  
新潟市江南区泉町3-4-5

電話

025-382-4619

FAX

025-381-7090

メール

chiiki.k@city.niigata.lg.jp